

## 活動結果報告書

平成28年9月30日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 佐々木富基



下記のとおり報告します。

日 程 平成28年9月20日(火曜日)

活動先 市内公共施設 視察

活動目的 市内公共施設の実情調査

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

### 公共施設視察先

1. うすずみ会館
2. 服部川と水間川の合流地点
3. 社会福祉センター
4. 南越清掃組合建設予定地視察
5. いこい館
6. 吉野瀬川放水路合流地点
7. カラス捕獲檻

## 越前市 公共施設視察報告

平成 28 年 9 月 30 日

### 1. うすずみ会館

- ・うすずみ会館館長の福田輝美氏より説明を受ける。

南越駅が昭和 56 年に廃線となりその後、旧駅舎後に地元の出資を基に建設された。現在年間 30 万円で指定管理を受けているが、地元移管について 10 月に地元の意向を報告することになっている。介護保険制度も来年度からは総合事業として老人の拠点施設整備事業の補助制度が始まる。高齢者の拠点施設としてうすずみ会館の施設整備ができないか提案をしてきた。

### 2. 服部川と水間川の合流地点 (朽飯町)

- ・服部地区自治振興会長 飯田正徳氏より説明を受ける。

平成 16 年の福井豪雨の際、私も朽飯地区の復旧作業にボランティアで参加をしてきた。豪雨後 12 年が経過したが、鞍谷川から服部川と水間川の合流地点までの事業化が進んでおらず、合流地点では雑草が生い茂っていた。当面は、合流地点での浚渫の要望を受け要請を実施する。地元の地権者との合意形成・鞍谷側から合流地点までの早期事業化が図られるよう、県に要望して行きたい。

### 3. 社会福祉センター (杉尾町)

- ・社会福祉協議会と隣接した施設でデイサービスが行われていた。施設全体では、利用者数が少なく、老人の拠点施設など地域全体の有効利用が望まれる。

### 4. 南越清掃組合建設予定地 (南越前町 上野)

- ・南越清掃組合 三田村所長 田中課長より説明を受ける。

昭和 59 年の稼動から 30 年を経過し早急に施設更新の時期が来ている。今回の施設は、処理能力 84 t/日で、エネルギー回収型廃棄物処理施設となっている。

焼却炉の建設費用は、123 億円を見込み、運転管理費の債務負担として 235 億円が 10 月開催の南越清掃組合議会で提案予定となっている。

発電設備を有し自家発電設備をすることで、エネルギーの有効活用が図られる。ごみの分別についても、高質プラスチック類・革製品の焼却も可能となり市民にとって利便性が図られる。

今後の予定として、平成 29 年 8 月に事業者決定・10 月から着工を開始し平成 32 年度供用開始となっている。工事着工まで住民との十分なコンセンサスを取りながら進めて行ってほしい。

#### 5. コウノトリケージ周辺 及び いこい館

いこい館 担当の日和氏より館内の説明を受ける。

「コウノトリが舞う里づくり戦略」に基づく環境整備事業は、コウノトリをシンボルとした環境調和型農業の普及、里地里山の保全・再生が地域の住民とともに進められてきた。

平成26年・27年と放鳥が実施され、今回ケージの上に豊岡で放鳥されたと見られるコウノトリが巣をつくり、今まで取り組んできた環境整備が、成果として現れたものだと評価をしたい。今後ともコウノトリの飼育、試験放鳥・環境農業の推進に協力して行きたい。

#### 6. 吉野瀬川放水路合流地点

平成16年・18年・25年と吉野瀬川増水により、避難勧告2回・避難準備情報1回が発令され沿線住民13000人が避難を余儀なくされた。当日は、河川が増水し土囊でせき止められていた箇所を乗り越えて、新放水路へ流れ込む状況を確認した。6月から新放水路が完成して3回目となる。平成29年度に現行河川と新放水路との堰の設置・大正橋周辺の整備を完了する予定となっている。放水路の完成に目途がついたが、30年に一度の治水安全度を高めるためにも、河濯川合流地点までの河川拡幅及び吉野瀬川ダムの早期実現のために県に要望をして行きたい。

#### 7. カラス捕獲檻について

カラスの檻については、市内に池ノ上町・余田町の二箇所に設置してある。今回は、余田町の檻を視察した。檻については、夏場は避け4月から6月10月から12月まで稼働させている。今年も、179羽捕獲している。設置については、吉野地区においても、いくつかの候補地が挙がっても、設置場所の選定となると同意を得るのが困難であった。今後、川東地区でも要望が出ているようだが、行政と地元が協力して早期実現に努めてもらいたい。

#### ◎所見

公共施設を中心にこれから議論となる施設を視察してきた。今回ご協力いただいた、地元の方・施設関係者・職員の皆様からの貴重なご意見を議会に反映させて行きたいと考えます。

様式第4号（第5関係）

### 活動結果報告書

平成28年10月31日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 佐々木富基



下記のとおり報告します。

日 程 平成28年10月3日(月曜日)～平成28年10月5日(水曜日)

活動先 岩手県 花巻市・一関市

活動目的 いわて国体視察

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

別紙参照

Horizontal dotted lines for reporting details.

## いわて国体 ソフトボール 視察報告

報告者 佐々木富基

1. 日時 平成28年10月4日(火)
2. 場所 花巻市 石鳥谷運動公園
3. 参加者 小玉俊一・吉田啓三・霜 実男・三田村輝士・吉村美幸

### 報告結果概要

#### 1. 会場運営・設営

石鳥谷運動公園は、広大な敷地の中にあり練習会場を含め8面のコートを利用し一括して競技が開催されていた。観客席については、仮設スタンドで整備され、障がい者用の観客エリアも整備されていた。喫煙エリアについては、トイレ周辺に4箇所設けられていた。

ごみの分別についても、会場の随所にゴミ箱が設置してあり、会場全体には、プランターに花が植えてあり、環境美化が徹底されており、ごみのポイ捨てもなく綺麗な会場であった。

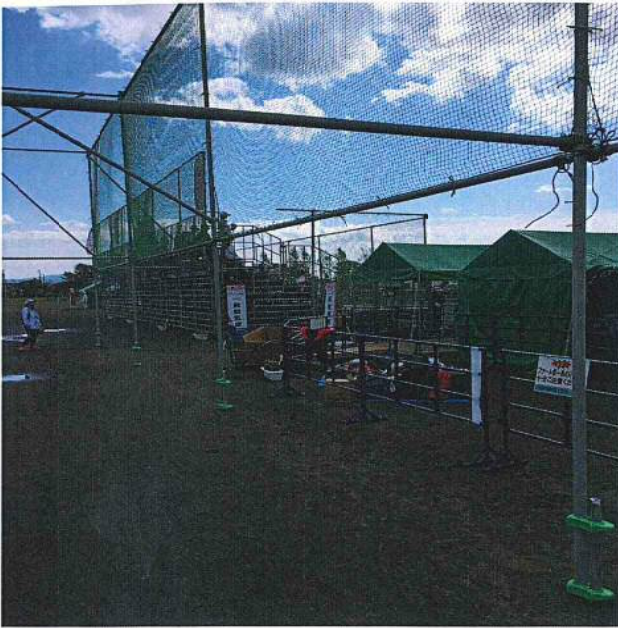
地元企業の協賛看板が入口・出口に設置されており来場者へのPRに努めていた。

場内の運営は、場内案内・駐車場整理など、幅広い年代のボランティアが活動されていた。駐車場については、限られたスペースであり送迎バスによるピストン輸送を実施していた。

#### 2. 観光PR

会場内は、花巻市公衆無線LANを活用し、地元の観光案内が表示され、競技終了後の県外来客者の観光誘導に貢献した取り組みを実施していた。

いわて国体 ソフトボール 花巻市



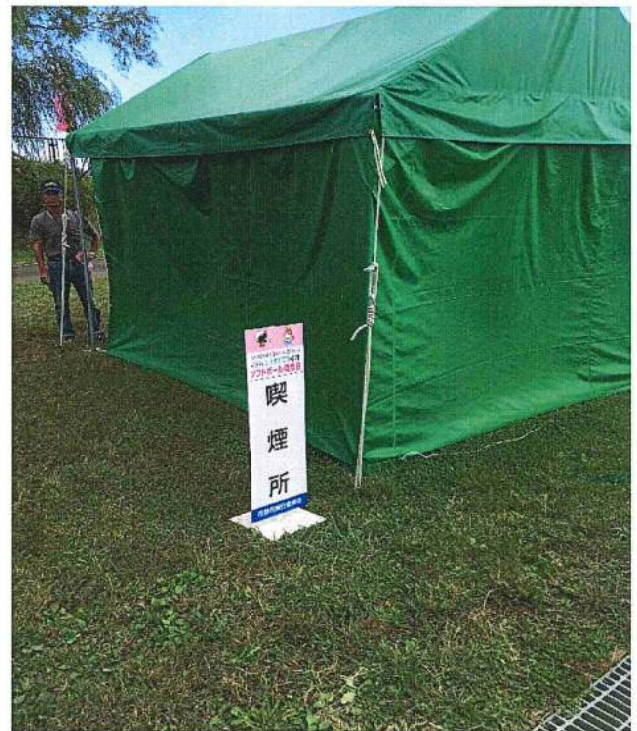
ソフトボール会場 仮設観客席



会場内 Wi Fi を活用した観光案内



企業協賛看板



4ヶ所の喫煙所

## いわて国体 フェンシング 視察報告

1. 日時 平成28年10月5日(水)
2. 場所 一関市 運動公園

### 報告結果概要

#### 1. 会場運営・設営

フェンシング会場入り口の、ウェルカム歓迎アーチには、東日本大震災支援に対する感謝の言葉が前面表示されており、震災から5年が経過する中で、国体を契機に支援していただいた方々への感謝の気持ちが伝わってきた。

会場は総合運動公園でサッカー場などが隣接しており、駐車場などには余裕があった。

場内の運営は、中高生・大学生のボランティアの方が活動されていた。隣接していたサブ体育館は、練習場・選手の荷物置き場などに使用されていた。

周辺の学校施設の体育館も練習会場として使用しており、サブ体育館と連携をとりながら会場運営が行なわれていた。

#### 2. 観光PR

体育館周辺では、地域の方、学生ボランティアが中心に地元特産品の果物・海産品の販売を行っており、気軽に話しかけてこられ「おもてなしの心」が伝わってきた。

いちのせき駅・新幹線駅では、国体総合案内所が開設しており、のぼり旗・いわてマスコットキャラクターを配置し、市の職員・ボランティアの方が中心となり、観光案内・会場への誘導などスムーズな対応が行なわれていた。

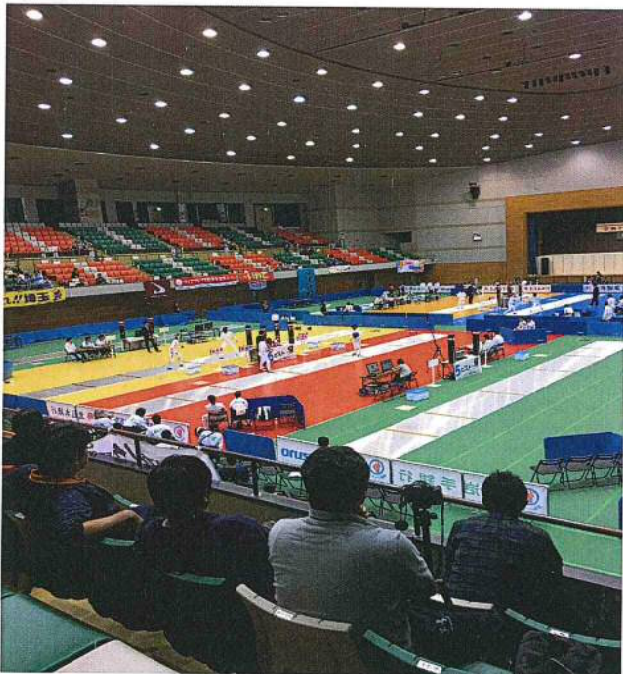
いわて国体 フェンシング 一関市



フェンシング会場 ウェルカムアーチ



フェンシング サブ会場



フェンシングメイン会場



いちのせき駅 国体案内所



## ◎福井しあわせ元気国体への課題

駐車場について、フェンシング・ソフトテニス開催時には、菊人形開催期間と重なるため、土日祝日について、企業の駐車場を借りてのピストン輸送などの検討をすべきである。

会場運営についてのボランティアについては、花巻市・一関市では一年前から募集しても人材の確保が困難であり、2ヶ月前から急募をして人材を確保した経過をお聞きした。JRなど公共交通機関から競技場への案内・競技場内での案内・周辺美化活動など各種団体と連携を強化して早めの対応が必要である。

宿泊については、ホテルは選手と関係者で一杯となり、応援者の宿泊は市外・県外宿泊が余儀なくされていた。越前市内の宿泊所は、ホテルも少なく選手・関係者には、負担軽減されるように近隣市町と連携をし、公共施設を有効に利用して対応すべきである。

JR駅前では、特設ブースを設けて、越前市の和紙・打ち刃物・越前指物など伝統工芸品を広くPRして全国発信して行くべきである。

一巡目の国体と比べると国体に向けて市民の関心が薄いように感じられる。プランターを利用したの花一杯運動・新体育館でのプレ大会開催PRなど機運を高める仕掛けが必要である。市広報・ホームページ・ケーブルテレビなど、あらゆる手段を講じて情報発信していくべきである。